「税の作文コンクール」に3人入賞！

大山中学校の生徒3人が「中学生の税についての作文」コンクールに入賞しました。鳥取県西部納税貯蓄組合連合会優秀賞に3年生の島田雅史さん、佳作に3年生の伊澤靖晃さんと1年生の實重えりかさんが入賞されました。12月3日には、大山中学校で賞状交付式が行われました。

賞状と記念品を受取る生徒たち
(左から大前博司鳥取県西部納税貯蓄組合連合会副会長、實重えりかさん、島田雅史さん、伊澤靖晃さん)

「税についての作文」コンクールは、税の正しい知識や納税の大切さを広めようと活動している、納税貯蓄組合と国税庁が主催している全国コンクールです。毎年夏に募集されますが、今年の全国からの応募点数は53万点を超えました。

正々堂々の試合清く

11月22日、大山中学校体育館を会場に21回目となる、大山町青少年育成剣道大会が行われました。

一瞬の隙を狙い、真剣に打ち合います。

今年も日ごろ鍛えた腕前を存分に発揮しようと、白熱した試合が繰り広げられました。竹刀を打ち合う音や勇ましい掛け声などが体育館に響き、また、一瞬の剣さばきで勝敗が決まるなど、少年剣士たちの活躍のひとつひとつが会場を熱くさせていました。

この青少年育成剣道大会には、今年も株式会社片木アルミニウム製作所（片木威代表取締役社長）から、青少年育成のために役立てて欲しいと、協賛金10万円の寄付を頂きました。

ナスパル音頭で旧交を

ナスパル音頭振興会（瀬原磯治代表）は、このほど姉妹町縁組を結んでいる、愛媛県伊予市中山町の芸能発表会に8年ぶりに出演し、旧交を温めました。

ナスパル音頭は、平成11年の温泉館のオープンを機に、なかやま温泉の発展を願って住吉にお住まいの細谷敏夫さんが作詞、自主制作された曲に、住民有志が振付けをしたものです。

ナスパル音頭を披露したナスパル音頭振興会の面々と
伊予の中山の皆さん

今回の芸能発表会への参加は、ナスパル音頭振興会発足10周年を記念して行ったものです。

ナスパル音頭振興会では今後とも、若い方たちの加入を勧めながら、活動していきたいと考えています。